



# カノコガ号

## 《私が子どもだった頃》 吉田 竜二

はじめまして（初めての方が多いため自己紹介させていただきます）学生部OBの吉田竜二です。前回掲載の飯村君は大道小時代の同級生です。飯村君は小学生時代から自然が好きだったんですが、自分はそうでもなかったんです…ぼくらが中学二年の時くらいに、大道小時代の恩師の尾上先生に誘われる形で侍従会の前身（大道ふるさとの生きものに親しむ会）の活動に参加しました。

当時は、山田陽治さんが隊長（学生部隊長）と呼ばれ、自分の同級生たちと一緒に、朝比奈の山や侍従川の観察を中心に、フィールドに出かけました。まあ、当時だと自分たちにとっては山田さんは面白いお兄さんって感じだったので、山田さんとどこかに行くのが楽しかったんですね。

今の侍従会の活動などは、昔からあるものも多いのですが、あの頃だけの活動も多々ありました。…特に思い出に残ってるのは、夏に三浦半島にある三戸浜で、学生部合宿としてキャンプに毎年行ったことです。キャンプ場とかではなく岩場にある小さい浜になるところで、磯の生きものが多くて、自然が多い穴場な場所です。小学生ぐらいだと少し危ない場所ですかね…そんな場所で自炊してご飯をみんなで食べたのが良い思い出ですね。



カノコガ（鹿子蛾）

英名： *Amata fortunei*

体長（開張）：30～37mm

分布：北海道、本州、四国、九州

解説：可愛らしい蛾の仲間、初夏から晩夏に見られ日中活動する。和名の由来は“鹿の子模様”から宛てられている。羽に触れるとその模様がそのまま手に付くことから判子チョウとも呼ばれるらしい。幼虫の食草はシロツメクサ、タンポポなど。

熊井 健

冬にやったことですのでいい思いだすのは、海鳥の観察です。大道小近くの侍従川から野島の海まで自転車でよく行きました。カモとサギぐらいしか見れませんでした。10種類ぐらいいいと思います。ちょっと足を伸ばして長浜公園に行った時は、海の公園近くにあった小さいパン屋さん（ブレーメン）でパンを買い、海を見ながら食べたそのパンは実に美味しかった！…山田さんと二人で行くこともありました。

他にも、かいぼり（池の水をぬく…魚などを捕まえる）して魚やウシガエルをとって食べるイベントに参加するため、栃木県まで行ったのは、強烈な思い出です。電車で前の日から行ってキャンプしたんですが、2～3月ぐらいだったので、とにかく寒かった！初めて食べたウシガエルは旨かったけど、他はまあ…淡水魚なので微妙でしたね…お世話になった家の山菜を使った料理はとっても美味しかったのを覚えています。

昔は、ぼくらは学生だったし、山田さんも今より時間があって、侍従川以外によく行ってたな…前述しましたが、自分は自然が特別好きなわけではなかったのですが（昔、横浜市大で行われた催しで、主催者が「自然が好きな子どもたちが集まって…素晴らしい！」と言われたのに対して「僕らは特に自然が好きというわけではなく、みんなとつるむのが楽しい」と反論？したこともありましたが）、山田さんの自然体な、とにかく活動的なところが、とても楽しかったし、構ってくれたのが活動に参加し続ける動機だったように思います。

いろいろあったあの頃に侍従会という居場所みたいなものがあったこと…侍従会にはとても感謝しています。

そのうちまた参加できればと思っています。

最後に、昨年9月に父親である吉田義信が亡くなりました。父は、侍従会に初期から5年ぐらい前まで参加してまして、皆様には父がお世話になり大変感謝しています。また、会の方から焼香や香典もいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

（おわり）

## トピックス

横浜市環境教育出前講座「生物多様性で YES」講師（bサポーター）にふるさと侍従川に親しむ会が登録

3/28（土）第29回横浜の川と緑を考える会議が  
トレッサ横浜にて開催

委員長：片岡生一、副委員長：高橋一太

6/2（火）六浦小学校3年生担任と侍従川を下見  
…相川前会長、細川、飯村が対応





ビオトープ (biotope) は、人工的に造った池など、野生の生きものたちがくらすことができる小さな自然のことを言います。ビオトープは、大道小学校のトンボ池が有名ですが、自分の家にもビオトープを作りたいと思って20年くらい前にプラスチックのケースを買ってきて庭に置きました。家人からは、蚊が増えると鰻躰を買いましたが、水草を入れておいて放っておいたらこのように小さな自然ができました。



長い間、放ったらかしにしてビオトープの存在自体も忘れた頃、雨が降ったあとに庭に出てみたら、イモリが歩いていました。ネットで調べるとアカハライモリという種類であることが分かりました。なんでこんな所にイモリがいるのか不思議でした。近くを調べてみると、何年も前にビオトープを作るために置いていたプラスチックのケースの中にイモリが重なるように集まっていることが分かりました。これには驚きました。



イモリは、冬の間は、このケースから姿を消して、春になるとここに集まってきます。ある時、近くの石をどけてみたら、2匹のイモリが寄り添うように隠れていました。たぶん、カップルだと思います。とんだ無粋なことをやりました。寒い冬の間は、石の下や土に中にもぐってじっとしているのです。



侍従会の佐野さんにお聞きすると、このイモリは、金沢区でも珍しい種類のものだということでした。近くには古い井戸があります。水道がないころは、この井戸を飲料水として使っていました。イモリは、井戸を守るということから井守とも書きます。昔から井戸を守りながらここに棲んでいたイモリがビオトープに集まってきたのでしょう。これからも、このイモリが棲める環境を大切に保っていきたいと思います。



## 3月定例クリーンアップ

【活動報告1】

3月22日(日) 9:00~11:00 晴れ 10℃

朝比奈橋~大道橋~大道東橋(清掃)

細川一雄

参加者：長野政治、八木場紀元、角田繁、西澤博厚、石渡博、関場俊子、長橋輝明、村田章夫、外川忠志、和地孝一、和地七海(小2)、鳥越昌三、鳥越龍(小2)、本松剛、本松洋子、本松陸(小6)、本松航(小3)、本松彩(2歳)、山田陽治、寺西貴子、金子英司、深沢大地、高橋一太、小野田幸介(小6)、内山美優(小3)、細川一雄(計26名)

ちとせ園の桜がほころんで来て今にも咲きそうになっています。久しぶりに防寒対策をしなくても良い季節になりました。春はすぐそこまで来ています。

今回は今年度最多の26名の方が参加してくれました。生き物調査を兼ねて、子ども達は山田さんと一緒に大道東橋から上流に向かって清掃してもらい、大人グループは上流域の朝比奈橋から大道橋までの清掃作業を行いました。

大道橋まで降りてくると、カワウが水辺に留まっていて逃げようとしません。どこか怪我をしているようでした。またすぐその近くで体長1m以上もあるアオダイショウを子ども達が捕まえました。今日の暖かさでヘビも冬眠から覚めたようです。アオダイショウを捕まえたまま千寿園に戻ると大きなクサガメとアカミミガメが捕獲されていました。また体長15cmほどのウナギやテナガエビなども水槽に入っていました。侍従川は小さいが生き物が豊富な川であることを再認識しました。



地藏前橋上流の清掃風景



回収したゴミ(10袋)

## 学生部新入生歓迎遠足 in 森戸川

【活動報告2】

4月4日(土)

小野田幸介(中1)

4月4日に遠足で森戸川に行きました。ぼくはちょうど新中1でした。いろいろな人が参加しました。

今回は魚やエビや水生昆虫などが採れました。採れませんでした。オイカワ(?)がいました。ツチガエルもいました。今年羽化しそうなコシボソヤンマやコオニヤンマもいました。サンショウウオも探しましたが、残念ながら採れませんでした。最後にツマキチョウが見れました。





今回の遠足は楽しかったです。これからは学生部なので、自分から進んでいろんなことができるようになりたいです。

田嶋俊一（中1）

ぼくは、森戸川での“学生部新入生歓迎遠足”に行きました。

ぼくが住んでいる平塚では、当日の朝の出発時に雨で、前日にも雨が降っていたから、中止されないか、川が増水していないか、とても心配でした。ただ、現地は曇りで、川も増水しておらず、雨になることはありませんでした。

最初はアスファルトでしたが、途中から脇道にそれ、すぐ真横が、ガケがむきだしの道を進んで森戸川に着きました。

ぼくは、胴長を持っていなかったのですが、深い所には行けなかったのですが、アブラハヤやヤマトヌマエビ、ヌマエビ、トビゲラなどがとれました。

サノシンは、オナガミズスマシの幼虫を2匹も取り、大きめのアブラハヤをとって、大喜びしていました。ただ、サノシンよりも大ちゃんの方が、いっぱい捕っていました。

今年は、いつもいるという場所にトウキョウサンショウオの幼体が見られませんでした。奥の方の支流にもいるかもしれないとの事で探しに行きましたが、こちらにもいませんでした。とても残念です。

新逗子駅までの間に一太とぼくで新入生歓迎パーティーをやろうと勝手に盛り上がりました。ぼくと一太でサノシンにそのことを提案しました。ぜひ実施してください。

中学生になったからには、学生部新入生として、いろいろなことを提案して、実現し、精一杯がんばって、活動したいです。





## 4月定例クリーンアップ

【活動報告3】

4月26日(日) 9:00~11:00 晴れ 15℃

朝比奈橋~大道橋~大道東橋(清掃)

細川一雄

参加者：長野政治、八木場紀元、石渡博、角田繁、西澤博厚、関場俊子、石塚正夫、村田章夫、長橋輝明、外川忠志、鳥越昌三、鳥越典子、鳥越珠貴(小4)、鳥越龍(小2)、本松洋子、本松航(小4)、本松彩(2歳)、米田、米田はる(小1)、山本佳子、山本楓花(小5)、山本美伶(小1)、佐々木りら(小5)、山本龍征(年少)、金澤喜乃(小5)、浦なつこ(小4)、屋島典是、浦信太郎、浦知美、今井康祥、今井幸子、今井翔太(小4)、今井はるか(小1)、池田陽子、池田祐、池田留衣、西村志保、西村陽翔、西村真翔、山田陽治、佐野真吾、金子英司、深沢大地、小野田幸介、細川一雄(計45名)

先月のクリーンアップの時にはちとせ園の桜がほころんできて花見を何時にするか悩んでいましたが、今日は花びらもすっかり散ってしまい公園は落ちた小さなさくらんぼの実で一面覆われていました。つい先日も北海道で桜が開花したとのニュースもあり、世の中は春真っ盛りで心もウキウキしてきます。今回はJ:COM(旧JCNネット)の取材がありましたので、生き物が沢山いる中流域(山田代表と佐野副代表が引率)に同行してもらいました。この様子は4月27日午後6時に放送されました。この報告が載る頃は既に終わっていますが一応報告だけ……。

草が大分伸びてきたので、草に隠れたゴミを探す為に伸びすぎた草やススキを刈り取ったり、セイタカアワダチソウを抜きながら、下ってくると、大道橋上流に紐が一本引っ掛かっていました。回収しようと引っ張ると後から後から紐が出てきます、よく見るとビニールロープを川に捨て、その紐が流れながら解けてきてしまったようです。工事に使って忘れてしまったのか分かりませんが、色々な物が捨てられています。

ちとせ園まで来ると子ども達は既に上がっていて、捕まえた魚を小さな水槽に入れて観察していました。子ども達にアイスとお菓子と飲み物、大人たちには軽い飲料をのんでもらい暫く談笑して解散しました。



里野橋下流の清掃風景



青木橋上流の清掃風景



捕まえた生き物の観察



回収した11袋分のゴミ

## 5月定例クリーンアップ

【活動報告4】

5月24日(日) 9:00~12:00 曇り 18℃

朝比奈橋~大道橋~大道東橋(清掃)

細川一雄

参加者：八木場紀元、石渡 博、角田繁、西澤博厚、関場俊子、村田章夫、今井康祥、今井翔太(小4)、小川和美、小川翔太(4)、金子英司、深沢大地、小野田勇介、小野田幸介(中1)、細川一雄(計15名)

5月も末頃になるとそろそろ何時梅雨入りするかが気になってきます。当日も天気予報は曇り時々雨でしたので空模様を気にしながらクリーンアップを開始しました。今回は下流域を担当するメンバーがいまいませんでしたので、久しぶりに私細川と他の大人2名が子ども達と一緒に下流域を清掃しました。上流域は大人3名が担当しました。

長島橋近くでは草が大分伸びてきて、大人の背丈以上になっていました。そろそろ近隣住民から草刈りの要望が治水事務所に行くのではないかと思います。草が伸びるとゴミがその中に隠れてしまいつい見逃しそうになってしまいます。川を下りながらゴミを探し、川を上りながらゴミを探すと下る時に見えなかったゴミが上りの時に見つかる事が度々ありました。

大道東橋の下で、何気なく手に掛けた金属棒が意外に重く、よくよく見てみると自転車のサドルでした。周りを調べながら持ち上げてみると、サドルだけでなく自転車の本体が錆びて埋まっているのが分かりました。何とか泥の中から引き出してみると、ずいぶん古くから埋まっていたようで、絡み付いていた泥が石のように堅くなっていました。硬くなった泥を石で叩いて何とか落としましたが、金属で重い為持ち帰るのをあきらめ川の擁壁に立て掛けて後日回収することにしました。

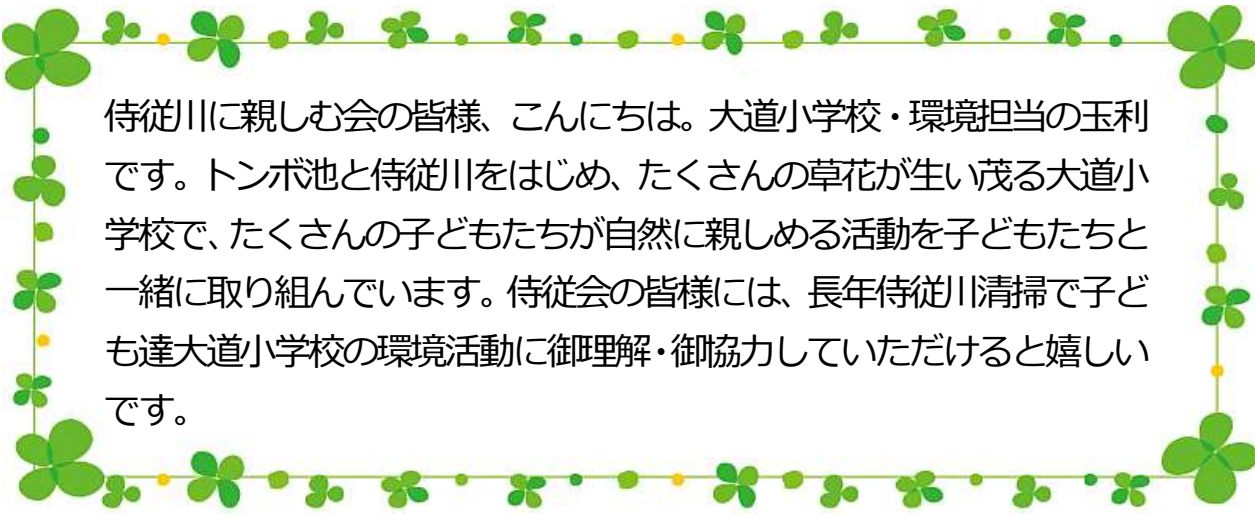


大道東橋下の清掃風景

一番最後に千寿園に上がると、先ほどの自転車の物と思われるタイヤ一個が子ども達に回収されていました。その後、いつもゴミを置いている県営住宅跡地の草刈りを行ないましたが、人力ではたかか知れていて、10m四方程度しか刈れませんでした。6月の末頃になると大道町内会で草刈りをすると思いますので、その時に手伝いたいと思います。



回収した8袋のゴミ、自転車のタイヤ等



侍従川に親しむ会の皆様、こんにちは。大道小学校・環境担当の玉利です。トンボ池と侍従川をはじめ、たくさんの草花が生い茂る大道小学校で、たくさんの子どもたちが自然に親しめる活動を子どもたちと一緒に取り組んでいます。侍従会の皆様には、長年侍従川清掃で子ども達大道小学校の環境活動に御理解・御協力していただけると嬉しいです。

## お知らせ

◎春のトンボ池・侍従川清掃が行われます！

6月15日(月)《予備日：16日(火)》9:30～11:30までに1年生はトンボ池、2～6年生は学年ごとに分かれて、侍従川を清掃します。侍従川を生きものたちにとって棲みやすい場所にする、たくさんの生きものに会える、大道の風景を好きになる、地域と方々とつながるなどたくさんの出来事があり、子どもたちも毎回楽しみにしています。

侍従会の方々にも川の安全サポート、梯子の上り下りの管理、子どもたちに侍従川とトンボ池について話をしていただけると、子どもたちも更に侍従川が好きになれると思います。

お時間がありましたら、御協力お願いします。

◎トンボ池の周りに植物を増やそう！トンボ池のエコアップ開催

6月27日(土) 9:30～11:30 (集合場所：大道小学校トンボ池前) にトンボ池のエコアップを行います。2年前までは、トンボ池の水を抜いて、底に溜まったヘドロを取り除く「かいぼり」を行っていましたが、年に1回行っていたため、トンボ池の生態がうまくバランスが取れない状態になりました。現在は、アオミドロが大量に発生している状況が毎年続いており、植物が少ないことが原因であると話をしています。

そのため、今回のトンボ池のエコアップは、侍従川に生えている植物をトンボ池に定着させる活動を行う予定です。子どもたちが侍従川に入ったり、トンボ池で活動したりしますので、生きもののガイド・安全確保のサポートをしてくださると嬉しいです。御協力よろしくお願いします。



# 学校エコアップ委員会の児童と取り組んだ 4・5月のエコアップ実践

## 1、トンボ池に土を入れよう！



植物が定着しやすいように、学校エコアップ委員会の児童と一緒に作ったコンポストをトンボ池の周りに少しずつまいています。

## 2、トンボ池に枝や大木を入れよう！

エビやメダカの隠れ家を増やすために、学校で使われなくなった大木や木々を水深が深い場所に設置しました。



## 3、水草を育てて、トンボ池に植えよう！



蓮池に自生している水生植物をタッチプールで育てています。ある程度、根付いたらトンボ池に植えなおしています。これからが楽しみです。

## 佐野真吾が語る侍従会の思い出

～じじい会シリーズ② 自転車のおじさん長野さん～

今回は侍従会前副会長の長野政治さんについてお話しさせていただきたいと思います。この連載を始めた時から長野さんについて書かせていただくよう決めていました。それほど、私にとって長野さんは印象深く、私を可愛がってくれた人でした。

長野さんを始めてお見かけしたのは私が小学校1年生の頃で、初めて侍従会に参加した時でした。その時の長野さんは自転車に乗って川の上から大声で指示を出していたのが印象的でした。それから数年間、私は会員ではあったものの活動には参加しなかったため、次にお会いすることになったのは中学1年生の時でした。その時も長野さんは自転車に乗って大声で指示を出されていたので、「あっ！あの時の自転車のおじさんだ！」とすぐに思い出しました。

長野さんのしゃべり口調には侍従川流域特有の方言があります。金沢弁というものなのではないでしょうか。「おい！ 誰々よお！」「～なんだけんどんよお！」「そいでえよお！」というような少し荒々しい感じの方言です。おまけに見た目もいかつく威厳のある長野さんに対して、当初私は恐いおじさんだと思っていました。

しかし、私が中学2年生の時、タガメについて調べたレポートが理科のコンクールで横浜市長賞を受賞した時、「佐野くんよお！ 大したもんだよ！ これからももっともっと頑張れよ！」と荒々しい口調ながら喜んで褒めてくれたのでした。そしてこの時から、「あっ！ このおじさん、見た目は恐いけど優しい人なんだ！」と思ったのでした。ちなみに侍従会のおじさんたちの多くは酒豪で口調や見た目が異様に恐いのですが、実は皆さんとっても優しいおじさんたちです（笑）

それからというもの長野さんとはよく話をするようになりました。「おい佐野くんよお！ 今朝ウチのポストにアオダイショウがいたからポストに閉じ込めてきたんだけんどよお！ ほしいか？」とアオダイショウをとっておいてくれたり、高校受験や大学受験が済んだ時に誰よりも褒めてくれたのが長野さんでした。

そんな長野さんの非常に面白いエピソードをご紹介します。長野さんはよく昔の侍従川について語ってくれましたが、そのトークとエピソード一つ一つが面白く、当時の学生部も思わず引きこまれて聞き入ってしまうことが度々ありました。

そんなお話の一つが「戦争ゴッコ」という話です。長野さんが子どもの頃は終戦間もない頃



「大道よもやま話」でお話しする長野さん



で、子どもたちの間でも竹や木の棒、鉄片などを剣や銃剣のようにして戦争ゴッコがおこなわれたそうです。

「ゴッコじゃねんだよ！ 本気の戦争なんだよ！ 隣村の子どもたちとウチの村の子どもたちでしょっちゅう喧嘩になってたよ！ 今の子どもらみたいにくるい喧嘩じゃねんだから！」と熱く話されます。「でもよ！ 最近の若けえやつらはナイフで刺しただの殺しただのって限度が分かってねえな！ 殺したらいけねえってことは当時の子どもはちゃんと分かってた！ 俺たちは刺すっていてもほんのちよっと、5センチくらいのもんだったよ！」。と話を聞いていたものの「ん？ (笑)」…「長野さんも刺してるじゃないですか！」  
「あれ？ (笑)」  
「しかも5センチって結構じゃないですか！？」  
「まあものの例えだ！ ワハハハ (笑)」

今なら（昔でも？）犯罪になりそうなエピソードです（笑）そんな話をいつも聞いていた私や山田さんは、侍従会のイベントとして長野さんに何度かよもやま話を依頼したことがあります。しかし、そういう時になるとかしこまってしまわれるのか、本当に面白いぶっちゃけトークが出てこないのです。

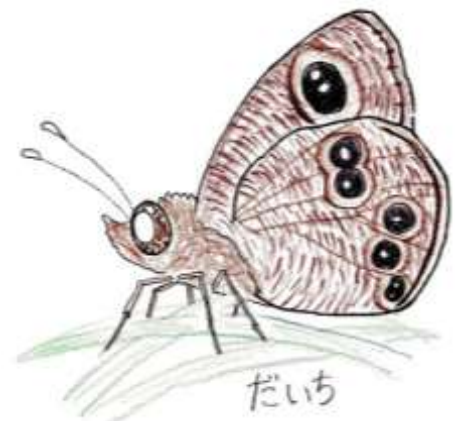
そんな時、「長野さんはやはり戦争ゴッコのリーダー格だったのでしょうか？」と質問をすると「いやいや俺は優等生だったからよお～ ワハハハハ」と笑いながら答えられました。ガキ大将だった頃の長野さんの少年時代が容易に想像できます。

さて、当連載で長野さんについての話を書かせていただくにあたり、今年4月、ご本人に確認をとらせていただきました。「いやいやいいよいいよ！ 俺の話なんか書かなくて！」とおっしゃいましたが、私の中では連載当初から考えていたことなのでこうして書かせていただきました。

この日は長野さんと川辺で少し話をしました。「佐野くんよお何歳になった？」「27です。来月28になります。」「そうかよ。さっき金子くん（カネゴン）が来て大学生になったってよ」「彼も小学生から来てますからね」「子どもの頃から知ってて、大人になってまた川に戻って来るってのは嬉しいもんだな。あの子どもら（現在の子たち）もすぐ大きくなんだろなあ」「そうですね」。

侍従川で育つすべての子どもたちに対して愛を持って接してくださっていることに嬉しく思いました。最近足が痛くて自転車には乗れないという長野さんですが、それでも毎月クリーンアップに来てくれるのは本当にありがたいことです。これからも侍従会を見守り続けていただきたいと思います。

『佐野真吾が語る侍従会の思い出』 つづく



# 琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～

## ～ オキナワサラサヤンマ ～

学名：*Sarasaeschna kunigamiensis*

体長：♂58～63mm、♀53～60mm

分布：沖縄島北部

沖縄県の特産種で、国内生息のヤンマ科のトンボでは最小種です。沖縄本島北部で3月下旬から5月までの短い間に出現し、気温の高い晴れた日に湿地や林道の上をパトロールする♂の姿をよく見かけます。



ヤゴ（幼虫）の生活環境は池や溪流ではなく、半ば地下を流れるような小さな流れ（伏流水）の中で生活するようです。

監修：熊井（沖縄在住）



ススキに静止する♂



倒木に産卵する♀

### 《生き物発見記録》

3/8(日) 朝比奈町蛭谷戸のコンクリート水路でヘイケボタルの幼虫を確認（佐野）①  
※朝比奈小学校に以前放流された川崎産（国内外来種）のヘイケボタルが流れてきたものと思われます。

4/18(土) 朝比奈町蛭谷戸でヒメマイマイカブリを確認（寺尾）②

4/18(土) 侍従川本流二の橋-山王橋間でアサヒナカワトンボを確認。今年の初見（佐野）③

5/17(日) ちとせ園～長島橋間でゲンジボタルを確認。今年の初見（飯村）

◎関東地方および神奈川県初記録のヒコサンセスジゲンゴロウを侍従川流域で採集し、神奈川自然史資料にて発表（佐野）

論文：佐野真吾(2015), 神奈川県初記録のヒコサンセスジゲンゴロウ, 神奈川自然史資料, (36):57-58.





## 朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

2014年11月、珍しい食キノコと出会う。朝比奈から連なる森つづきの熊野神社から三郎滝へつづく雑木のいい尾根で。

これはルリハツタケという珍種。見るのも食べるのも初めてでした。九州などの記録もあり暖温帯系らしいが晩秋に出るベニタケ科というのもおもしろい。コナラと山桜の林でスタジイが混じる地上に点々とでていた。

味はハツタケととても近く濃いだしと香りでおいしい。青みがかかったキノコだが傷つくとさらにそこが青変する。味も特徴も松に生えるハツタケとアカハツに似る。



ルリハツタケ

### 侍従川定例調査報告 学生部

3月22日(日) 9:00～11:00 晴れ

【調査範囲】 泥牛橋～加倉橋

【採集した生き物】

魚類：チチブ 17、ウキゴリ 1、スミウキゴリ 4、シマヨシノボリ 3、ボラ 3(その他目視多数)、ミナミメダカ 1、ウナギ 1、ホトケドジョウ 1

甲殻類：ヌマエビ 4、テナガエビ 1

昆虫：ヤマサナエ(ヤゴ) 2、ハグロトンボ(ヤゴ) 2、コオニヤンマ(ヤゴ) 1、アサヒナカワトンボ(ヤゴ) 1、コシボソヤンマ(ヤゴ) 3

貝類：カワナ 7、イシマキガイ 10

両生類/爬虫類：ヤマアカガエル(卵塊) 1、クサガメ 1、ミシシippアカミミガメ 1、アオダイショウ 1

鳥類(いずれも目視)：アオサギ 1、コサギ 1、カワウ 1、カワセミ 1、カルガモ 3

その他：ヒルsp 1

備考：クリーンアップ時に開催

ヤマアカガエルの卵塊は川の一部がため池のように成っている場所にありました。カワウは相当近づいても飛んで逃げませんでした。片方の羽を痛めている様です。ホトケドジョウは大道中学から流れてきたものと思われます。

ちとせ園付近のソメイヨシノが数輪咲いていました。来週にはもっと見ごろになるとと思われます。

# 侍従川におけるハゼ類の産卵地点調査



チチブ



ウキゴリ



シマヨシノボリ

侍従川に入ると川底の石の下で卵(卵塊)の世話をするハゼ類の姿を見かけることがあります。これらのハゼ類は主にチチブ、ウキゴリ、シマヨシノボリであることが多く、いずれも春から初夏にかけて繁殖します。そんなハゼ類が侍従川の何処で産卵をしているのか、そして年による移り変わりを2012年から調査してきました。

## 今年の調査

- 調査日：2015年4月26日
- 調査方法：下流から石の裏を確認していき、卵塊の数および種名、地点名を記録した。なお、今回の調査範囲は泥牛橋から二の橋までとした。

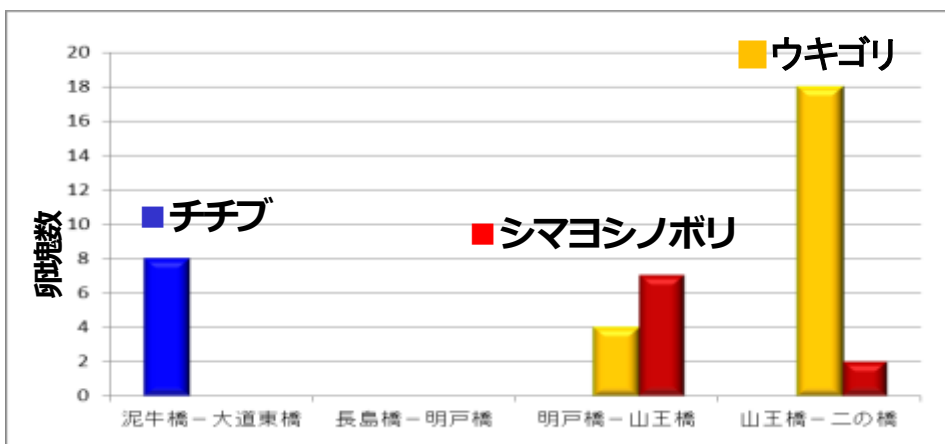


図1.ハゼ類3種の産卵地点と卵塊数

## 結果

今回の調査でチチブ8卵塊、ウキゴリ22卵塊、シマヨシノボリ9卵塊が確認されました。また、左図のようにチチブは下流側で、ウキゴリ、シマヨシノボリは上流で産卵をしていました。



卵塊を保護するシマヨシノボリ  
(高橋一太撮影)



調査の様子

学生部報告





## 虫のきょういく座談会 ～大座談会 in 道頓堀～



4月におこなわれた新入生歓迎遠足の帰り道、小6のイッタを筆頭に子どもたちが打ち上げをやりたいと大騒ぎをした。この時、疲れと花粉症で早く帰宅したかった佐野は「はいはいじゃあ次回の野草パーティの後にね。」と適当に返答したのであった。そしてそれ以来この日の会話のことはすっかり忘れていた。しかし、野草パーティ当日、あの日の会話を忘れていなかった宴会部長イッタ(小6)の猛プッシュにより大人たちはまるめこまれ、急遽宴会、いや!「虫のきょういく大座談会」が侍従川ほとりにあるお好み焼き屋「道頓堀」にて開催されたのであった。

今回の参加者は野草パーティに参加していた方々のうち20名である。人数に比例して内容が多く、まとまらないので4部に別けて紹介したい。

### ☆学生部障部会☆ カズキ(高1)、ダイチ(中3)、佐野

最初佐野が座したのは、長年侍従会に君臨する重鎮、高1のカズキと中3のだいちゃんが座る席だった。

佐野「今日は酔う前に真面目にこれからの学生部の活動内容を決めるぞ！」

カズキ「酔うのはサノシンだけだよ！」

ダイチ「俺たち未成年だもん！」

佐野「まあそうだな…」

すっかり言うようになった二人と学生部の活動内容について考え始めた。

ダイチ「シュノーケリングしようよ！」

佐野「おおいね！俺は夜の侍従川歩きやってみたいんだけどなあ！」

ダイチ「それもいいじゃん！やろうよ！」

佐野「でも夜に川でライト当てたりガヤガヤやったら苦情くるんじゃないかなあと…カズキは何かないの？」

カズキ「ええー俺？」

佐野「高校忙しいの？楽しくやってんの？」

カズキ「うんまあ楽しいよ！」

佐野「おおっ！なになに可愛い女の子と出会ったのかい？お兄さんに話してごらん？(笑)」

カズキ「工業高校だから女子ぜんぜんいませーん」

佐野「なんだつまらん！」

ダイチ「部活とか入ったの？」

カズキ「漫研！」

ダイチ「へえ！ てかカズキって絵とか描くの？」

カズキ「結構描くよ！」

佐野「じゃあ今度会報にも描いてよ！ リアルな特徴をとらえた可愛い虫の絵とか！」

ダイチ「それなら以前にやったっていうお絵描き座談会を学生部でやろうよ！」

お絵描き座談会とは、4、5年前におこなわれた座談会で、お題を元に皆で同じ絵を書き競い合うというものである。

佐野「おお懐かしいな！ じゃあカズキも参戦しろよ！」

カズキ「あぁいいよ！ 楽しそうじゃん！」

大人に近づきつつある年頃の中高生で構成される学生部。学生部では小学生ではできない活動もすることができる。しかしそれでも彼らが提案した活動内容は「お絵描き大会」であった。

#### ☆宴会部長の悩み☆

イッタ(小6)、エイシ(中2)、佐野

小一時間が経ち佐野は最も騒がしい席に移動した。

イッタ「おうサノシン待ってたぜ☆ あっ！ 注文お願いしまーす！」

佐野「おう！ てかイッタ相当食ってない？」

イッタ「まあまあまあサノシンも食べて食べてえ☆」

佐野「お、おうありがとう」

調子よく皿に肉を乗せられペースを奪われた気がした。

エイシ「イッタ、さっきダイエットするって言ってたのにもう忘れてんじゃん！（笑）」

佐野「ダイエット？笑 イッタが痩せたらキャラが変わっちゃうよ！」

イッタ「俺は足が速くなりたいんだよ！」

佐野「ほお！」

イッタは肉を焼きながら熱くたぎる想いを語りだした。どうやらクラスに負けたくない友達がいるらしい。

エイシ「なるほど！ じゃあ走れよ！」

佐野「子どものうちから食わずダイエットは体に悪いぞ！」

イッタ「まあねえ。(ピンポン)」

佐野「おいおまえ！ また注文するのかよ？」

イッタ「いいからいいから～☆ 注文お願いしまーす！」

エイシ・佐野「…」



イッタ「さあさ☆ サノシン食べて食べてえ☆」

佐野「お、おう…ありがとう」

イッタの悩みに心配はいらんようだ。

☆夢を語る者☆

コウスケ(中1)、コウスケ母、佐野

水生昆虫好きという大きな共通点を持つ佐野とコウスケはお互いひかれ合うところはあったが、普段口数の少ないコウスケとゆっくり話す機会は少なかった。しかし、この日の彼は珍しく饒舌で、最近採った虫の話やこれから行ってみたい場所など会話は大いに盛り上がった。そんな座談会の最中、コウスケのお母さんが途中から参加して下さった。

佐野「こんばんは☆ 今コウスケくんと盛り上がっていたところでした☆」

コウスケ母「ありがとうございます☆」

佐野「コウスケくん採りたい虫や行きたい場所がたくさんあるみたいですよ！ せっかくだから今言ってみたら？ ☆」

するとコウスケは堰を切ったように話し出した。

コウスケ「伊豆の〇〇池に行って〇〇を採りたい！ あと□□の△△で〇〇も採りたい！

あとは□□に行って△△を見に行きたい！ それと中国に野生のパンダを見に行きたい!!!」

佐野・ダイチ「パンダ!？」

近くで聞いていたダイちゃんまで思わず聞き返した。

コウスケ母「そ、そうねえ…」

お酒も入り楽しくなり「行きたいところ言ってみたら？ ☆」なんて、軽はずみなことを言った自分に反省した。お母さんは息子を野生のパンダが生息する中国の密林に連れていかななくてはならなくなってしまったのだから。コウスケの夢はまだまだ計り知れない。

☆大人座談会☆

山田、今井、金澤、佐野(歩海)

佐野が子どもたちと無邪気な宴会をしている間、奥のテーブルでは奥様方主導の現実的な大人座談会が行われていたようだ。しかし、その中で唯一自らの夢と信念を掲げ通した男がいたという。我らが偉大なる先導者、森のあそび人、山田陽治代表である！ 奥様方が旦那の職や家庭におけるお金の管理について意見を飛び交わせる中、ただ一人夢を追うことをあきらめず奮闘したと聞き及んでいる。そんな山田氏が最後に言い放った言葉があったと言う。

山田「サノシンには就職なんてしてほしくない！」

後日、この時の話を穏やかな口調で話した妻歩海であったが、佐野は怖くて眼を見れなかったそうだ・・・

(おわり)

# 事務局だより

事務局運営委員 長橋 輝明

## ◆ 6月～9月の活動予定 ◆

☆定例クリーンアップ 6/28(日)、7/26(日)、8/23(日)、9/27(日)

9時～12時 ちとせ園集合 ※雨天延期…翌週日曜

持ち物：川に入れる格好（長靴の貸出あり）、タオル、軍手（必要な人）、網（使いたい人…貸出あり）、着替え（心配な人） ※川の上からの参加でも構いません

☆8/8(土)～9(日) ジュニアキャンプ in 野島

☆9/19(土) ハゼ釣り大会

※詳細はホームページ及びメーリングリストで

## ■ 学生部の活動

☆6/6～6/27の(水)(土) 19:00～20:30 ホタル調査（大道中学校）

会のホームページはこちら→ <http://jijyukai.web.fc2.com/>  
会報をカラーで見ることができます。

## ● 2015年度会費納入のお願い

4月から新年度になりました。新年度分の会費の納入を**6月中**にお願いいたします。  
現金での支払いは間違いのもとになりますので、必ず郵便局払込票で支払ってください。

口座記号番号：00230-5-68634 加入者名：ふるさと侍従川に親しむ会

年会費：大人 3,000 円 大学生以下 1,500 円

ふるさと侍従川に親しむ会 事務局 長橋 輝明

TEL：080-7697-8181 e-mail：sunhearts21@gmail.com

ふるさと侍従川に親しむ会が、以下の2つの賞を受賞しました！

○ 日本水環境学会関東支部 「水環境保全活動奨励賞」

授賞式：6/20（土）13:30～日本大学理工学部駿河台校舎1号館2階122会議室  
（東京都千代田区神田駿河台1-8-14）

○ 第2回金沢区環境にやさしい活動表彰「本部長賞（大賞）」

表彰式：7/18（土）13:30～金沢公会堂「環境未来都市 横浜 かなざわフォーラム」

《編集後記》 今回から、大道小の玉利さんによる「エコアップだより」がスタートしました。大道小の子どもたちによるエコアップ活動を報告してくれます。みなさんお楽しみに！（MK）